

科目名	イグナイト教育1A					授業形態	演習
対象学年	1年	開講時期	通年	科目分類	必修	単位数	3単位
担当教員	野原,蛭名,川口,金,菊池,櫻井,奈良,松本,村田和,山崎直,吉川,坂本,田島,角田,福地,住谷,石川,江藤,久保田,佐藤,永田						

授業の目的と概要	薬剤師を目指す学びのためのリテラシー(知識を活用し問題を解決する能力:「情報収集力」「情報分析力」「課題発見力」「構想力」)の基盤を形成する。アクティブ・ラーニングを通してコンピテンシー(自分を取り巻く環境に働きかけ対処する力:「対課題」「対人」「対自己」)育成のための基盤作りを目指す。医療人として卒業後の目標に到達できるよう、学生時代になすべき目標を設定し、それに向かって主体的に行動できる力を身につける。
到達目標	1) 提出物を締切りまでに提出する習慣を身に付ける。 2) 提出物や配布資料等をファイル化(ポートフォリオの作成)する習慣を身に付ける。 3) 振り返りの習慣を身に付ける。 4) 薬剤師の多様な役割を説明することができる。 5) 他人の話を聴くことができる。 6) 自分と異なる意見を聞くことができる。 7) 自分の考えを伝えることができる。 8) 発言や文章に論理性(整合性)がもてる。 9) 生活目標を定め、目標に向けた生活の自己管理ができる。 10) 学習目標を定め、目標に向けた学習習慣を身につける。 11) KJ法やマインドマップで情報を整理することができる。 12) 講義中のキーワードを見つけ、振り返りに必要な聴講メモを作成できる。 13) 聴講メモや下調べを用いて文章を書くことができる。 14) 予習(下調べ)やレポートの文献を検索することができる。 15) 薬学生として適切なコミュニケーションをとることができる。 16) 相手に伝わるプレゼンテーションをすることができる。
ディプロマポリシーとの関連	<p style="text-align: center;">【薬学部 薬学科のディプロマポリシー】</p> <p>(○) 1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を具現できる。</p> <p>(○) 2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。</p> <p>(○) 3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。</p> <p>4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。</p> <p>(○) 5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。</p> <p>※(○)表示のある項目が本科目と関連するディプロマポリシーです。</p>
課題のフィードバック	各チューターが毎回提出物にコメントを書き込み、生活や学習面について指導を行う。
評価方法	ポートフォリオの内容60%、受講態度(提出物の確認表、相互評価、教員評価)40%により評価する。自分が目指す薬剤師の姿をイメージできているか、自分の目標を設定しそれに対して必要な知識や情報を収集できているか、設定した目標に向かって主体的に行動できる習慣を身につけ自己管理することができているかについて評価する。
教科書	毎回の配布資料
参考書	大学基礎講座 改増版 充実した大学生活を送るために、藤田哲也編著 ISBN978-4-7628-2484-5 北大路書房、2,052円
参考URL	
備考	<p>講話内容の下調べやレポート課題が課せられるので、manab@IMUを毎回チェックすること。manab@IMUに蓄積されるポートフォリオを用いて学習内容の振り返りをする(30分程度)。タブレットは自宅で充電とシステムの更新を行い毎回持参すること。</p> <p>前期の1~15回は3,4時限目、後期の16~30回は4時限目に展開する。グループ活動を基本とするため、10人程度が1グループとして編成される。各グループに先導役を兼ねるチューター教員2名が配置され、2チームに分けて担当する。このチューターはスタディー・ライフの相談役でもある。講師の都合等でプログラムや日程の変更する場合がある。</p> <p>【基本的資質:①②③⑨ アドバンスト:0% 準備教育:0% 大学独自:70%】</p>

授業計画	回次	テーマ	準備学習
	第1回	オリエンテーション 「イグナイト教育とは何か」	【復習】イグナイト教育についての配布資料を読み返す。
	第2回	「図書館ツアー」 「グルーピング(記者会見)」 「今の時点で考える薬剤師像」	【予習】自己の探求で行った「記者会見」の方法を思い返しておく。 【復習】ノートに記録した図書館の利用の仕方を読み返す。
	第3回	「スタディスキルズ・スチューデントスキルズの基本」① ～大学生活のルールと勉強の仕方、試験の受け方～	【復習】勉強の仕方の講話について聴講メモを読み返す。
	第4回	「スタディスキルズ・スチューデントスキルズの基本」②	【復習】勉強の仕方の配布資料を読み返す。
	第5回	「新聞記事のトピックスから」	【復習】新聞の読み方を思い出しながら配布資料と聴講メモを読み返す。
	第6回	「KJ法の理論と実践」	【復習】KJ法に関する配布資料を読み返す。
	第7回	「話し方講座—コミュニケーションとは何か」 SBO:A-(3)-① -1～3,7～9	【復習】話し方講座の聴講メモを読み返す。
	第8回	「コミュニケーションワーク」 SBO:A-(3)-① -1～3,7～9	【復習】コミュニケーションワーク後に作成する「ふりかえり」を読み返す。
	第9回	「薬局薬剤師・病院薬剤師の仕事と役割」 SBO:A-(1)-② -1～3	【復習】薬局薬剤師・病院薬剤師の仕事と役割の聴講メモを読み返す。
	第10回	「自分の通う大学について学ぶ」①	【復習】自分の通う大学に関する配布資料を読み返す。
	第11回	「自分の通う大学について学ぶ」②	【予習】作成した壁新聞の説明の練習をする。
	第12回	「患者さんから学ぶ」① SBO:A-(2)-① -1～4	【復習】患者さんから学ぶの聴講メモを読み返す。
	第13回	映画「生まれる」の鑑賞	【復習】映画「生まれる」の聴講メモを読み返す。
	第14回	「KJ法の実施・発表内容の作成」 「個人発表・全体発表と振り返り」	【予習】作成した発表資料の発表練習をする。
第15回	「薬学の歴史を学ぶ」 SBO:A-(1)-④ -1～4	【復習】薬学の歴史の聴講メモを読み返す。	
試験	試験は実施しない。		

回次	テーマ	準備学習
第16回	「研究活動に求められる心構え」 SBO:G-(1)-1～4	【復習】研究活動に求められる心構えの聴講メモを読み返す。
第17回	「マインドマップ作成演習」①	【復習】マインドマップに関する配布資料を読み返す。
第18回	「マインドマップ作成演習」②	【予習】作成したマインドマップの説明の練習をする。
第19回	「いわき明星大学薬学部の宣伝用壁新聞作り」①	【復習】見学した場所にまつわる話を思い返す。
第20回	「いわき明星大学薬学部の宣伝用壁新聞作り」②	【予習】作成した壁新聞の発表練習をする。
第21回	「課題解決演習」①	【復習】課題解決演習の配布資料を読み返す。
第22回	「課題解決演習」②	【復習】作成したポスターを読み返す。
第23回	「課題解決演習」③	【予習】作成したポスターの説明の練習をする。
第24回	「卒業生に学ぶ」 SBO:A-(5)-④ -1,2	【復習】卒業生からの講話の聴講メモを読み返す。
第25回	「製薬企業のリアル」①講話 SBO:B-(2)-②-1～5	【復習】製薬企業のリアルの聴講メモを読み返す。
第26回	「製薬企業のリアル」②SGD	【復習】SGDの記録を読み返す。
第27回	「製薬企業のリアル」③個人発表	【予習】作成した発表資料の発表練習をする。
第28回	「製薬企業のリアル」④全体発表	【復習】発表資料を読み返す。
第29回	「振り返り・個人発表」①	【予習】発表練習をする。
第30回	「振り返り・個人発表」②	【予習】発表練習をする。
試験	試験は実施しない。	

授業計画